

適用範囲		モデル名		D39EX-22	D39PX-22	D51EX-22	D51PX-22
		仕様		パワーアシスト パワーアシスト	パワーアシスト パワーアシスト	パワーアシスト パワーアシスト	パワーアシスト パワーアシスト
		適用号機		3001～	3001～	B10001～	B10001～
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
ディーゼルエンジン	エンジン本体	エンジン回転速度 ハイアイドルリング ローアイドルリング トルコンストール状態 (冷却水温) (作動油温)	min ⁻¹ min ⁻¹ min ⁻¹ (℃) (℃)	2350～2450 950～1000 — (75～94) (40～60)	2350～2450 950～1000 — (75～94) (40～60)	2220～2320 825～875 — (75～94) (40～60)	2220～2320 825～875 — (75～94) (40～60)
		エンジン油圧 (油温) (回転速度)	KPa kg/cm ² (℃) (min ⁻¹)	490～690 5.0～7.0 (90～110) (2400)	490～690 5.0～7.0 (90～110) (2400)	294以上 3.0以上 (80～110) (2060)	294以上 3.0以上 (80～110) (2060)
		弁すき間 吸気弁すき間 排気弁すき間 [測定条件]	mm mm []	0.25 0.51 [常温]	0.25 0.51 [常温]	0.25 0.51 [常温]	0.25 0.51 [常温]
		圧縮圧力 (冷却水温) (回転速度)	KPa kg/cm ² (℃) (min ⁻¹)	2410 24.6 (75～94) (250～280)	2410 24.6 (75～94) (250～280)	2410 24.6 (75～94) (250～280)	2410 24.6 (75～94) (250～280)
		燃料装置	噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	KPa kg/cm ²	コモンレール	コモンレール	コモンレール
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り 測定位置・条件	mm kg N []	— []	— []	— []	— []
	インチャージ ペダル	ペダル取り付け高さ	cm	—	—	—	—
		ペダルの遊びのストローク	cm	—	—	—	—
		ペダルの全ストローク	cm	HST	HST	HST	HST
		トランスミッション 力伝達装置		KPa kg/cm ²			
ハイドロシフト型			KPa kg/cm ²				
ミッション潤滑油圧	KPa kg/cm ²		HST	HST	HST	HST	
クラッチ油圧	KPa kg/cm ²		HST	HST	HST	HST	
	(ミッション油温) (エンジン回転速度)	(℃) (min ⁻¹)	HST	HST	HST	HST	
プロペラシャフト	ボルト締付けトルク	N・m kgm	HST	HST	HST	HST	
ステアリング装置	レバー遊びのストローク レバーの全ストローク	cm cm	— 4.0～6.0	— 4.0～6.0	— 4.0～6.0	— 4.0～6.0	
	ステアリングクラッチ油圧 (油温)	KPa kg/cm ² (℃)	HST	HST	HST	HST	

[illegible]

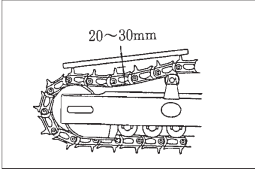
モ デ ル 名	D39EX-22	D39PX-22	D51EX-22	D51PX-22
---------	----------	----------	----------	----------

① 点 検

■ 点 検

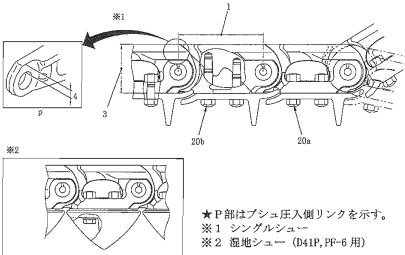
平地に車を止め（前進でブレーキをかけないで止まる）まっすぐな棒を右図のようにキャリアローラとアイドラの間に乗せたとき、棒とグロースとの間が中央で 20～30mm あれば標準の張りです。

標準の張りでないときは、次のように調整してください。



20～30mm

② オイル封入履帯



※P部はプッシュ圧入側リンクを示す。
※1 シングルシュー
※2 通地シュー（D41P, PF-6 用）

No.	項 目	判 定 基 準		
		基 本 寸 法	許 容 限 度	
1	リンクピッチ		171.7	174.7
20	a. シュエーリング	締め付けトルク (Nm (kgm))	増し締め角 (度)	
		196.1±19.6 (20±2)	120±10	
	b. マスターリンク	締め付けトルク (Nm (kgm))	増し締め角 (度)	下限トルク (Nm (kgm))
		196.1±19.6 (20±2)	180±10	

③ ブレーキ性能チェック

▲ 警 告

以下の操作で動いたときは、すぐに当社または当社販売サービス店へ修理を依頼してください。

重 要

変速レバーは1速には絶対に入れてはいけません。車両損傷の原因となります。

エンジンの始動前に車両の回りの安全を確認してからつぎの操作を行ってください。

① インチングペダル ⑦をいっぱいに踏込んでください。

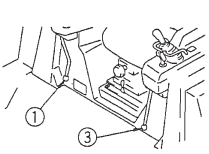
② エンジンを始動させてください。

③ 安全ロックレバー①をフリーにして、ブレード操作レバー②を操作してブレードを上げてください。

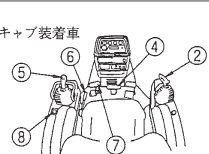
安全ロックレバーは、フリーの位置のままにしておいてください。

④ パーキングレバー ③をフリーにしてください。

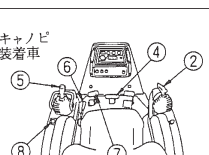
⑤ 燃料調整レバー ⑥を操作して、ローアイドリングとフル回転の中間位置まで引いてください。



キャブ装着車



キャノピ装着車



⑥ ブレーキペダル④を踏み、変速レバー⑤を2速に入れて、速度段表示窓⑧の表示が2速になっていることを確認してから、前進側に倒してください。

⑦ ブレーキペダル④を踏込んだままでインチングペダル⑦をゆっくりもどしてください。

⑧ 上記操作でエンジンが停止して車両が動かなければブレーキは正常です。

⑨ 次にパーキングブレーキの点検をします。

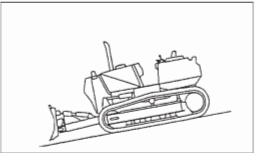
車両を坂道で前下がりの位置になる様に移動してください。

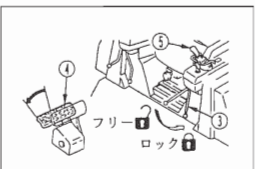
⑩ 坂道でエンジンをかけたまま、ブレーキペダル④を踏み前後進レバー⑤を中立に戻し、車両を停止します。

⑪ パーキングレバー③を、ロック位置とします。

ブレーキペダル④を離して車両が動かなければ、パーキングブレーキは正常です。

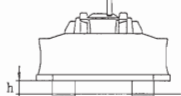
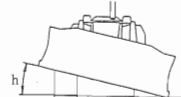
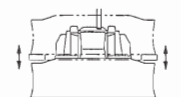
⑫ 万一車両が動いた時は、パーキングレバー③をフリーの位置にしてブレーキペダル④を踏み込んでください。





重 要

パーキングレバー③をフリーの位置にしないと、ブレーキペダルが効きません。

項 目	測 定 条 件	単 位	新 車 基 準 値	故 障 判 定 基 準 値
④ リフト自然降下量	・作業機姿勢  ・エンジン停止 ・作動油温：45～55℃ ・ブレード中刃を300mm上昇させた位置からの15分間の降下量 (h)	mm/15分	50 以下	←
チルト自然降下量	・作業機姿勢  ・エンジン停止 ・作動油温：45～55℃ ・ブレードを最大チルトさせて接地した位置からの15分間の降下量 (h)	mm/15分	100 以下	←
⑤ ブレード上昇速度	・作業機姿勢  ・エンジンフル ・作動油温：45～55℃ ・ブレード無負荷 ・ブレード接地～最大上げ間の所要時間	上 げ 秒	1.9±0.2	2.5